

平成 30 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀の子

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 法人の目的 | 1 |
| 2. 亀の子の理念 | 1 |
| 3. 法人の基本方針 | 1 |
| 4. 事業の概略 | 2 |
| 5. 各事業部門 | 3 |
| (1) 本部 | |
| I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営 | 3 |
| II. 経理部門 | 3 |
| III. 地域福祉との連携 | 3 |
| IV. 福祉避難拠点 | 4 |
| V. 職員(人材)の育成 | 4 |
| VI. 各種規程の新規作成・改定 | 8 |
| VII. 法人運営会議 | 8 |
| VIII. 情報公開 | 9 |
| (2) 障がい者支援部門 | |
| I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】 | 10 |
| II. 日常生活支援【のほほん】 | 13 |
| III. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】 | 16 |
| IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】 | 20 |
| V. 福祉的就労支援【遊亀館】 | 23 |
| VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】 | 26 |
| VII. 住まいの支援【タートルホーム】 | 30 |
| (3) 児童支援部門 | |
| I. 保育支援【たから保育園】 | 32 |
| II. 障がい児通所支援 | |
| 【かめっ子クラブ】 | 35 |
| 【かめっ子クラブⅡ】 | 37 |
| 【かめっ子クラブⅢ】 | 38 |
| (4) メンバーの家族との連携 | 40 |
| (5) 苦情解決 | 40 |
| (6) 職員 | 40 |
| (7) 非常災害対策 | 41 |
| 6. 社会貢献活動 | 41 |

1. 法人の目的

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者・児が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

2. 亀の子の理念

- ① 一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場であること。
- ② 自己選択・自己決定・自己責任・自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場であること。
- ③ 「障がい者を世の光とする」メッセンジャーである。生きるメッセージを与えて行く場である。
- ④ 亀の子は、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場であること。
- ⑤ 子どもの人権を尊重しながら、働く父母や地域の多様化する要望に応え、愛される保育園を目指す。

3. 法人の基本方針

(1) 法人の基本方針

- ① 大田圏域の障がい者で、保健福祉の支援を必要としている人に対し、利用者の人間美をひきだし、信頼関係を深め、一人ひとりのライフステージに添った人生の物語が実現できるように支援体制を整えます。
- ② 障がい者福祉の総合的なコミュニティソーシャルワーク(CSW:地域福祉)の拠点となり、『さわやかに 明るく さりげなく 豊かな出会いの場』を目指します。
- ③ 障がい者福祉、高齢者福祉そして児童福祉が一体化することにより、先進的な多機能サービス(地域共生ケア)が提供でき、豊かな地域社会が形成されるよう貢献します。

(2) 利用者援助の基本方針

- ①利用者一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場とします。
- ②自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場とします。
- ③亀の子セルフは、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場とします。
- ④「障害者を世の光とする」メッセンジャーとなります。
- ⑤人として、生きるメッセージを与えていく場となります。
- ⑥苦情に対しては、誠心誠意を込めて対応を行います。
- ⑦個人情報、部外者に漏れないよう大切に扱います。

以上のことに努めました。

4. 事業の概略

(1) 社会福祉事業 第二種

| 事業所名 | 事業名 | 定員 | 住所 |
|-------------|--|-----------|------------------|
| 亀の子サポートセンター | ・特定相談支援事業 ・大田市委託相談支援事業 ・障がい児相談支援事業 | | 大田市長久町長久口267番地6 |
| のほほん | ・地域活動支援センター ・島根県高次脳機能障がい者支援事業 | | 大田市長久町長久口267番地6 |
| 亀の子工房 | ・就労継続支援 B 型 | 20名 | 大田市長久町長久口267番地6 |
| 遊亀館 | ・就労継続支援 A 型 ・就労移行支援 | 14名 6名 | 大田市長久町長久口267番地6 |
| ふぁみりーわーく | ・自立訓練(生活訓練) ・生活介護 | 6名 14名 | 大田市長久町長久口335番地1 |
| タートルホーム | ・介護サービス包括型共同生活援助 | 10名 | 大田市長久町長久口267番地6 |
| | | 5名 | 大田市長久町長久イ453番地10 |
| | | 4名 | 大田市長久町長久口268番地18 |
| たから保育園 | ・認可保育所 | 50名 | 大田市長久町長久口268番地2 |
| かめっ子クラブ | ・放課後等デイサービス ・児童発達支援 | 10名 | 大田市長久町長久口268番地2 |
| かめっ子クラブⅡ | ・放課後等デイサービス | 10名 | 大田市長久町長久口267番地6 |
| かめっ子クラブⅢ | ・放課後等デイサービス | 10名 | 大田市長久町長久口268番地2 |

(2) 公益事業

| 事業所名 | 事業名 | 住所 |
|--------|--------------------------------|-----------------|
| ジョブ亀の子 | ・障害者就業・生活支援センター事業 (雇用安定等事業) | 大田市長久町長久口267番地6 |

5. 各事業部門

(1) 本部

I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営

社会福祉法人制度改正及び各種法改正に基づき、適正かつ総合的に取り組みました。

II. 経理部門

- ① 社会福祉法人新会計基準に則り、正確な会計処理に努めました。
- ② 予算に基づく適切な会計処理を行いました。
- ③ 就労支援事業は原価及び経費の見直しをし、コスト削減に努めました。
- ④ 公認会計士 松井久氏に財務会計に係る情勢整備状況の点検及び適切な会計処理が行われているかどうか確認、指導を頂きました。
- ⑤ 財務状況並びに運営状況を明らかにし、法人の今後の中長期計画を立案しました
- ⑥ 社会福祉充実残高を算出し、内部留保の明確化をしました。

III. 地域福祉との連携

施設処遇の福祉ではなく、地域福祉を根ざした活動を行いました。

当法人施設は、経済・福祉団体等、様々な関係機関とも連携をとり、地域住民も参画し(ボランティアの協力)、共に共有、共存できる施設を目指しました。

1) 地域との連携で次の事項を実践しました。

- ① 大田市障がい者自立支援協議会に参画しました。
- ② 社会福祉協議会と連携し諸施策の実行を行いました。
- ③ 地域行事への参加(天領踊り等)
- ④ 施設行事へ地域住民の協力・参加(納涼祭)
- ⑤ ボランティアの受け入れと交流(うさぎの会等)
- ⑥ 市内中学校の体験実習の受け入れ
- ⑦ 機関紙「亀の子」の発行
- ⑧ 福祉体験学習の場の提供(大学生・専門学校生の実習の受け入れ)
- ⑨ 大田商工会議所及び九号線長久商工振興会の活動に参加

2) 施設見学者・視察研修者

| 日付 | 来 所 者 | 人数 |
|-------|-------------------------|----|
| 4.27 | 出雲養護学校邇摩分教室 生徒・保護者・教員 | 3 |
| 5.28 | 出雲養護学校本校 生徒・教員 | 3 |
| 6.6 | 石見養護学校 生徒・教員・保護者 | 12 |
| 6.8 | 出雲養護学校邇摩分教室 保護者・教員 | 3 |
| 6.12 | 島根大学医学部看護学科 学生 | 2 |
| 6.13 | 島根大学医学部看護学科 学生 | 3 |
| 7.3 | 島根大学医学部看護学科 学生 | 2 |
| 7.4 | 島根大学医学部看護学科 学生 | 2 |
| 10.22 | 出雲養護学校邇摩分教室 高等部1年 生徒・教員 | 2 |
| 10.23 | 島根県立大学 看護学科 学生 | 2 |

| | | |
|-------|--------------------|----|
| 10.24 | 島根県立大学 看護学科 学生 | 2 |
| 11.6 | 放課後デイみんと 職員 | 5 |
| 2.15 | 出雲養護学校邇摩分教室 保護者・教員 | 3 |
| 合 計 | | 44 |

3) 体験等実習

| 日付 | 実 習 者 | 人数 |
|-----------|----------------------|----|
| 6.4～6.8 | 出雲養護学校邇摩分教室 生徒 | 1 |
| 6.4～15 | 石見養護学校高等部 生徒 | 1 |
| 7.17～8.6 | 島根大学 学生 | 1 |
| 10.17～23 | 出雲養護学校邇摩分教室 生徒 | 1 |
| 9.27～10.6 | 福祉リソースカレッジ広島 学生 | 1 |
| 12.10 | 島根県精神保健福祉相談員実習(行政職員) | 2 |
| 2.4～2.15 | 出雲養護学校邇摩分教室 生徒 | 1 |
| 合 計 | | 8 |

IV. 福祉避難拠点

福祉避難所として、非常食や備品の整備に務めました。また、防災訓練を実施しました。

V. 職員(人材)の育成

1) 施設内研修

- ①メンバーの処遇について・専門的関わりについての学習会を行いました。
- ②法人職員としての接遇についての学習会を行いました。
- ③役職者を対象とした研修を行いました。
- ④新任職員研修を入社後4ヶ月以内に5回行いました。

| 研修名 | 実施月日 | 対象 | 参加人数 |
|---------------------------------|----------------------|-------------------|------|
| 放課後等デイサービス事業ガイドライン研修 | 5.10 | 放課後等デイサービス職員 | 12 |
| 新職員等社内研修 | 6.6・20・ 7.4・18・25 | 新任職員 他職員 | 16 |
| SST 研修 | 6.9 | 障がい福祉職員 | 10 |
| 障がい児支援研修会 | 7.13 | 放課後等デイサービス職員 | 18 |
| 精神保健福祉に携わる職員としての援助技術を高めるための SST | 10.1 | 全職員 | 22 |
| 役員人権研修 | 3.27 | 理事・評議員・ 監事・管理職 | 11 |

2) 施設外研修

①本部・役員

6講座に 延べ12名の役職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|------------------------------|---------------------|
| 平成30年度社会福祉法人指導監査説明会・研修会 | 7.13 |
| 第37回社会福祉法人経営者大会 | 9.19～21 |
| 全国社会福祉法人経営者協議会 「朗務ゼミナール」 | 7.17～19 10.16～18 |
| WAM NET 平成30年度社会福祉施設経営実務セミナー | 11.28～29 |
| 全国社会福祉経営者協議会 人事・労務管理講座 | 1.23～24 |

②亀の子サポートセンター

22講座に 延べ35名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|----------------------------|----------------------------------|
| 島根県相談支援専門員協会総会・相談スキルアップ研修会 | 4.7・6.6 8.31・9.4～ 9.5・2.24 |
| 精神障がい者地域移行・地域定着支援研修 | 10.13 |
| 発達障がい講演会 | 11.7 |

③のほほん(高次脳機能障がい支援事業含む)

9講座に 延べ15名の職員が受講しました。
研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|---------------------------------------|---------|
| 高次脳関係職員研修会 | 6.28・29 |
| 平成30年度 サービス管理責任者研修(地域生活(知的・精神)) | 11.1・2 |
| 平成30年度 島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会 第2回スタッフ研修会 | 2.26 |

④ふぁみりーわーく

10講座に 延べ12名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|---------------------------------|------------------|
| 福祉職員キャリアパス研修【チームリーダーコース】 | 5.17・18 |
| 平成30年度島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会管理者研修会 | 6.30 |
| 平成30年度 コミュニティソーシャルワーク実戦基礎研修 | 9.12・13 11.16 |

⑤亀の子工房

15講座に 延べ15名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|------------------------|----------------------------|
| 異業種研修会 | 6.13 |
| 相談支援従事者初任者研修 | 7.24・25 8/2・3 10/2～4 |
| 平成30年度 障がい者虐待防止・権利擁護研修 | 2.13・14 |

⑥遊亀館

9講座に 延べ19名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|-----------------------|-------------------|
| 平成30年度就業支援基礎研修 | 8.1～3 |
| 障害者自己理解支援スキルアップ事業研修 | 10.27～28 12.22 |
| 平成30年度障がい者虐待防止・権利擁護研修 | 2.13～14 |

⑦ジョブ亀の子

8講座に 延べ 12 名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|---|----------|
| 平成30年度障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修 | 5.22～25 |
| 第1回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会 | 8.9 |
| 平成30年度障害者就業・生活支援センター 中国・四国ブロック経験 交流会議/障害者就業・生活支援センター中国・四国地区ワーカー 連絡会 in 広島 | 11.13～14 |

⑧タートルホーム

3講座に 延べ4名の職員が受講しました。
研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|-----------------------------|------|
| 第1回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会 | 8.9 |
| 第1回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会(虐待防止) | 11.8 |

⑨たから保育園

12 講座に 延べ 36 名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|----------------------------------|----------|
| 平成30年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修【チームリーダー】 | 5.17～18 |
| 子ども・子育て支援事業経営セミナー | 10.11～12 |
| 平成30年度 保育事業経営セミナー | 2.15～16 |

⑩かめっ子クラブ

11講座に 延べ12名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|---------------------|------------|
| ミュージックケア(全5回) | 6.17～11.25 |
| 障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 | 8.7・8 |
| 発達障がい講演会 | 11.17 |

⑪かめっ子クラブⅡ

5講座に 延べ5名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|--------------------------------|---------|
| 強度行動障害支援者養成研修 | 6.20・21 |
| 福祉職員キャリアパス研修【初任者コース】 | 8.9・10 |
| 平成30年度 IS YOU 乳幼児期の見え方についての研修会 | 10.10 |

⑫かめっ子クラブⅢ

6講座に 延べ7名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

| 研 修 名 | 実施月日 |
|------------------------|-------|
| 新入社員研修講座「接遇・ビジネスマナー」研修 | 6.20 |
| 苦情解決サービス研修会 | 10.15 |
| 発達障がい講演会 | 10.17 |

3) 主催研修

①障がい児支援研修会

放課後等デイサービスの職員及び地域の支援者のスキルアップのために北原侑先生(鳥取県立総合療育センター シニアディレクター)を講師に迎え、下記研修を開催いたしました。

| 研修名 | 対象者 | 実施日 | 参加人数 |
|----------------------------|-----------|------|------|
| 実践指導「事例を通して支援者の支援の在り方について」 | 対象児童の関係者等 | 6.22 | 17 |
| | | 11.9 | 19 |

②高次脳機能障がい支援圏域研修会

島根県より委託をうけ、下記研修会を開催いたしました。

| 研修内容 | 対象者 | 実施日 | 参加人数 |
|--|--------------------------------|------|------|
| 高次脳機能障がいと認知症 講師：高橋 幸男 氏 (エスポアール出雲クリニック 院長) | 障がい福祉・ 高齢者福祉・ 行政関係者 等 | 8.9 | 26 |
| 障がいのある方への虐待防止について 講師：阪田 健嗣 氏 (西部島根医療福祉センター 育成部長) | 障がい福祉・ 高齢者福祉・ 行政関係者 等 | 11.8 | 23 |
| 高次脳機能障がい者支援について 講師：隅原 聖子 氏 (社会福祉法人 千秋会 井野口 病院 地域医療連携室 参与) | 障がい福祉・ 高齢者福祉・ 行政関係者 等 | 12.3 | 37 |

③ジョブ亀の子主催研修

ジョブ亀の子主催研修は、P.29に「ネットワーク強化・充実事業」として記載しております。

VI. 各種規程の新規作成・改定

各種法改正に基づき、慶弔規程・就業規則・経理規程・運営規程の見直しを行い、修正・追加等を行いました。

VII. 法人運営会議

1) 法人運営会議

法人の円滑な運営を図るために、下記の日程で会議を開催しました。

| | 開催日 | | | | | |
|------|------|------|-------|-------|------|--|
| 理事会 | 6.7 | 9.26 | 11.22 | 12.26 | 3.27 | |
| 評議員会 | 6.25 | | | | | |
| 監査会 | 6.5 | | | | | |

2) 役職会議

| | | | | | | |
|----|--------------------------------------|-------|-------|------|------|------|
| 構成 | 役職員(理事長・副理事長・総括施設長・部長・次長) | | | | | |
| 目的 | 施設間の連絡、調整及び法人・施設運営が円滑に推進できるように調整を図る。 | | | | | |
| 開催 | 4.24 | 5.28 | 6.8 | 7.24 | 8.28 | 9.26 |
| | 10.25 | 11.22 | 12.25 | 1.25 | 2.25 | 3.27 |

3) 虐待防止委員会

| | | |
|-----|-------------------------------------|--|
| 構 成 | 管理職・虐待防止マネージャー・看護師・利用者代表・家族代表・第三者委員 | |
| 目 的 | 利用者児の虐待を未然に防ぐための、施設環境づくりを目指す。 | |
| 開 催 | 5.28 | |

4) 職員会議

| | | | | | | | |
|--------|--|-------|-------|-------|------|------|-------|
| 構 成 | 各部門の職員 | | | | | | |
| 目 的 | 施設内の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。 | | | | | | |
| 開 催 | 亀の子工房 のほほん タートルホーム | 4.19 | 5.15 | 6.19 | 7.23 | 8.22 | 9.19 |
| | | 10.16 | 11.20 | 12.20 | 1.28 | 2.19 | 3.19 |
| | ふぁみりー わーく | 4.20 | 5.25 | 6.22 | 7.27 | 8.27 | 9.21 |
| | | 10.19 | 11.29 | 12.21 | 1.18 | 2.22 | 3.212 |
| | 遊亀館 ジョブ亀の子 サポートセンター | 4.17 | 5.15 | 6.19 | 7.17 | 8.21 | 9.18 |
| | | 10.16 | 11.20 | 12.18 | 1.17 | 2.19 | 3.19 |
| | かめっ子 クラブ | 4.16 | 5.17 | 6.19 | 7.20 | 8.21 | 9.14 |
| | | 10.16 | 11.27 | 12.18 | 1.18 | 2.21 | 3.26 |
| | たから 保育園 | 4.23 | 5.9 | 6.13 | 7.11 | 8.8 | 9.10 |
| | | 10.10 | 11.14 | 12.12 | 1.9 | 2.13 | 3.23 |

VIII. 情報公開

事業計画・収支予算書、事業報告・収支決算書等ホームページ上で情報公開を行いました。

(2)障がい者支援部門

I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】(相談支援事業所)

1) 目的

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与、又は権利の擁護のために必要な支援を行うことにより、障がい者等やその家族における生活を支援し、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る事を目的としています。

2) 方針

大田地域で生活する、全ての障がい者を対象とし、この大田地域の中できっと前に生きていける自信に、さらに繋がるように支援をおこないました。

3) 開所時間

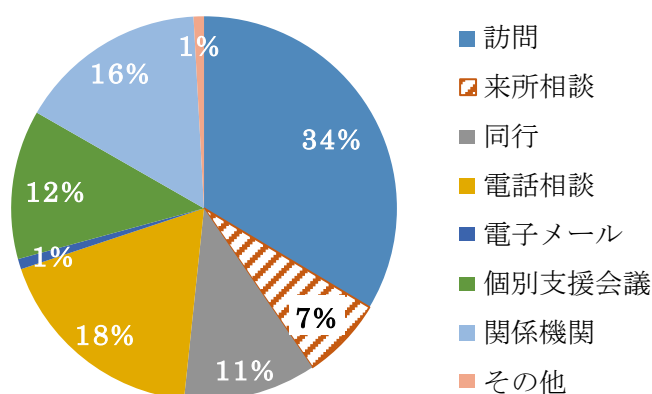
8:30 ～ 17:30 (土・日曜日・祝日は、電話を携帯電話に転送して対応)

17:30 ～ 8:30 (電話を携帯電話に転送して対応)

4) 生活相談事業

(単位:件 又は 人)

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 | 平均 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 訪問 | 50 | 64 | 61 | 52 | 40 | 54 | 47 | 46 | 47 | 46 | 52 | 59 | 618 | 51.5 |
| 来所相談 | 6 | 7 | 7 | 11 | 9 | 4 | 11 | 13 | 9 | 19 | 16 | 15 | 127 | 10.6 |
| 同行 | 24 | 22 | 13 | 12 | 11 | 12 | 12 | 17 | 13 | 31 | 26 | 12 | 205 | 17.1 |
| 電話相談 | 31 | 34 | 29 | 25 | 20 | 29 | 23 | 27 | 30 | 26 | 36 | 25 | 335 | 27.9 |
| 電子メール | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 5 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 16 | 1.3 |
| 個別支援会議 | 10 | 21 | 22 | 16 | 14 | 18 | 15 | 28 | 25 | 19 | 16 | 27 | 231 | 19.3 |
| 関係機関 | 39 | 21 | 27 | 25 | 12 | 32 | 29 | 23 | 21 | 21 | 25 | 16 | 291 | 24.3 |
| その他 | 0 | 4 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 0 | 16 | 1.3 |
| 計 | 160 | 175 | 163 | 141 | 109 | 154 | 138 | 156 | 147 | 164 | 176 | 156 | 1,839 | 153.2 |
| 実人数 | 64 | 71 | 77 | 61 | 57 | 75 | 69 | 81 | 74 | 69 | 63 | 81 | 154 | 70.2 |



5) 認定調査

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 | 平均 |
|-----|---|----|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|-----|
| 件数 | 6 | 10 | 3 | 3 | 5 | 5 | 8 | 3 | 1 | 6 | 4 | 4 | 58 | 4.8 |

6) 相談実績

①実績内訳

(単位:延べ件数)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 福祉サービスの利用等に関する支援 | 89 | 83 | 72 | 75 | 45 | 79 | 61 | 72 | 59 | 61 | 60 | 85 | 841 |
| 障がいや病状の理解に関する支援 | 14 | 7 | 16 | 10 | 2 | 16 | 5 | 6 | 3 | 3 | 14 | 10 | 106 |
| 健康・医療に関する支援 | 19 | 33 | 36 | 23 | 32 | 30 | 35 | 34 | 34 | 45 | 44 | 43 | 408 |
| 不安の解消・情緒安定に関する支援 | 19 | 16 | 28 | 26 | 21 | 26 | 19 | 31 | 28 | 27 | 39 | 18 | 298 |
| 保育・教育に関する支援 | 11 | 18 | 32 | 19 | 14 | 17 | 17 | 20 | 22 | 17 | 28 | 29 | 244 |
| 家族関係・人間関係に関する支援 | 17 | 10 | 33 | 26 | 16 | 35 | 33 | 31 | 26 | 9 | 30 | 16 | 282 |
| 家計・経済に関する支援 | 5 | 11 | 12 | 7 | 10 | 14 | 12 | 10 | 6 | 14 | 16 | 6 | 123 |
| 生活技術に関する支援 | 13 | 22 | 41 | 39 | 29 | 30 | 22 | 30 | 30 | 24 | 57 | 30 | 367 |
| 就労に関する支援 | 3 | 4 | 8 | 6 | 1 | 4 | 8 | 6 | 4 | 5 | 5 | 4 | 58 |
| 社会参加・余暇活動に関する支援 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 17 |
| 権利擁護に関する支援 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 8 |
| 住居に関する支援 | 10 | 8 | 3 | 5 | 2 | 2 | 8 | 10 | 9 | 17 | 10 | 2 | 86 |
| 地域生活移行・自立生活に関する支援 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害程度区分認定に関する支援 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 16 |
| その他 | 10 | 10 | 2 | 7 | 5 | 4 | 2 | 8 | 11 | 8 | 8 | 10 | 85 |
| 合計 | 217 | 223 | 285 | 243 | 177 | 261 | 229 | 264 | 234 | 238 | 313 | 255 | 2,939 |

②計画相談支援件数

(単位:件)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 利用支援 | 10 | 15 | 14 | 13 | 12 | 4 | 16 | 16 | 20 | 6 | 7 | 10 | 143 |
| 継続利用支援 | 28 | 39 | 33 | 35 | 35 | 31 | 28 | 30 | 28 | 26 | 18 | 37 | 368 |

③障がい児計画相談支援件数

(単位:件)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|--------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 利用支援 | 4 | 6 | 2 | 5 | 1 | 5 | 1 | 6 | 0 | 5 | 4 | 0 | 39 |
| 継続利用支援 | 7 | 1 | 6 | 4 | 1 | 4 | 6 | 2 | 5 | 1 | 6 | 5 | 48 |

④支援対象契約者数

| | 年度初め | 新規利用者 | 利用終了者 | 年度末 |
|------|------|-------|-------|-----|
| 障がい者 | 105 | 20 | 9 | 116 |
| 障がい児 | 38 | 1 | 1 | 38 |
| 合計 | 143 | 21 | 10 | 154 |

7) 会議等参加状況

①大田市・相談支援事業所連絡会

(単位:人)

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | |
|------|-----|-----|-----|----|----|----|----|--|
| 出席者数 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | | |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
| 出席者数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 45 | |

②その他

| 連絡会名 等 | 参加回数 | 延べ参加者数 |
|-------------------------|------|--------|
| 大田市自立支援協議会各部会 | 10 | 10 |
| 大田圏域相談支援事業所会議 | 1 | 4 |
| 病院・市町等保健所連絡会 | 1 | 1 |
| 障害者就業・生活支援センター連絡会議 | 2 | 2 |
| 高次脳機能障害者支援ネットワーク会議 | 4 | 5 |
| ゆきみーる運営等検討会議 | 3 | 3 |
| 地域活動支援センター連絡会 | 2 | 2 |
| 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議 | 1 | 1 |
| ウインドブロック連絡会議 | 1 | 1 |

II. 日常生活支援【のほほん】(地域活動支援センター)

1) 目的

障がい者に創作活動又は生産活動の機会を提供し、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の自立及び社会参加の促進を図ることを目的としています。

2) 方針

大田市で生活する全ての障がい者を対象として、障がい者がごく当たり前に生きていける自信に繋がるように支援をおこないました。

3) 開所時間

9:00 ～16:00

4) 地域交流活動推進事業

①開館日数及び利用者数

(単位:人)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 開館日数 | 26 | 26 | 28 | 28 | 25 | 27 | 27 | 25 | 24 | 25 | 25 | 28 | 314 |
| 利用者数 | 73 | 83 | 82 | 80 | 71 | 76 | 79 | 74 | 64 | 75 | 66 | 71 | 119 |
| 延べ利用者 | 473 | 511 | 458 | 486 | 420 | 410 | 459 | 444 | 394 | 430 | 412 | 436 | 5,333 |

1日あたり平均利用者数:17.0人

②月例行事

(単位:人)

| 月例行事 | 開催数 | 延べ | 平均 |
|-------------------|-----|-------|------|
| お茶会 | 49 | 1,015 | 20.7 |
| カラオケ | 27 | 242 | 9.0 |
| 脳トレ | 24 | 178 | 7.4 |
| 料理教室(クッキング) | 18 | 123 | 6.8 |
| ゲーム | 15 | 114 | 7.6 |
| のほほんシアター | 14 | 135 | 9.6 |
| ミュージック・ケア | 14 | 144 | 10.3 |
| 創作活動 | 13 | 73 | 5.6 |
| スポレク | 13 | 91 | 7.0 |
| らくらく体操・足腰元気トレーニング | 12 | 75 | 6.3 |
| Myカレンダー作り | 11 | 74 | 6.7 |
| 紙芝居 | 10 | 70 | 7.0 |
| エアロビクス | 9 | 140 | 15.6 |
| 川柳を読もう | 7 | 52 | 7.4 |
| むかしの遊び | 7 | 49 | 7.0 |
| ショッピング | 7 | 49 | 7.0 |

| 月例行事 | 開催数 | 延べ | 平均 |
|-------|-----|-------|------|
| エコ活動 | 5 | 28 | 5.6 |
| SST | 5 | 40 | 8.0 |
| 絵画同好会 | 2 | 4 | 2.0 |
| 合 計 | 262 | 2,696 | 10.3 |

※料理教室では、精神保健福祉ボランティア「うさぎの会」の皆様にも協力してもらい、メンバーさんも楽しく参加することができました。

③各月行事

| 月 | 内容 | 参加人数 |
|-----|--------------------------|------|
| 4月 | お花見(亀の子工房と共催事業) | 4 |
| 7月 | マジックショー | 9 |
| | 勉強会(私たちは何のために生きているのだろう) | 2 |
| 8月 | Let`s play English | 8 |
| 9月 | 消防訓練 | 3 |
| 12月 | クリスマス会 | 9 |
| | 落語(高次脳家族の集いと共催事業) | 12 |
| 1月 | ミーティング(新年の抱負) | 7 |
| | 初釜 | 33 |
| | 餅つき | 5 |
| | 五十猛グロ | 6 |
| 2月 | 節分会 | 6 |
| | 芸術鑑賞(サンドミュージアム 勝部和子氏 個展) | 9 |
| 3月 | ひな祭り | 5 |
| | 消防訓練 | 5 |
| 合計 | 15件 | 123 |

5) 高次脳機能障害者支援拠点事業

①支援対象者

(平成31年3月31日現在)

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 2 | 1 | 4 | 7 | 14 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 1 | 7 |
| 計 | 0 | 0 | 2 | 5 | 6 | 8 | 21 |

②新規相談者数

| 実人員 | 医療機関 | 障がい者支援事業所 | 介護保険事業所 | 保健所 | 市町村 | その他 | なし |
|-----|------|-----------|---------|-----|-----|-----|----|
| 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |

③相談延べ件数

| | 電話 | 来所 | 訪問 | メール 書簡 | その他 | 計 |
|------|----|-----|----|-----------|-----|-----|
| 本人 | 8 | 99 | 21 | 29 | 15 | 172 |
| 家族 | 25 | 6 | 1 | 3 | 0 | 35 |
| 関係機関 | 42 | 7 | 5 | 0 | 4 | 58 |
| 計 | 75 | 112 | 27 | 32 | 19 | 265 |

④大田圏域支援ネットワーク会議

| | 開催日 | 会場 | 参加者数 |
|-----|----------|-------------|------|
| 第1回 | H30.5.18 | 県央保健所 集団指導室 | 27名 |
| 第2回 | H30.9.21 | みさと館 会議室 | 27名 |
| 第3回 | H31.1.25 | 県央保健所 集団指導室 | 19名 |

⑤圏域研修会開催

島根県の委託を受け、2回実施しました。詳細は、P.7にて掲載しております。

⑥会議参加状況

| 会議名 | 参加回数 |
|----------------------------|------|
| 島根県高次脳機能障がい者支援コーディネーター連絡会議 | 3 |
| 島根県自立支援協議会 高次脳機能障がい者支援部会 | 1 |
| 出雲パワーネット会議 | 5 |
| 浜田圏域高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議 | 2 |
| 脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 実行委員会 | 2 |

⑦高次脳家族の集い実績

| 開催日 | 内容 | 参加者 | | | | 計 |
|-------|------------------------------------|-----|----|------------|-----|----|
| | | 当事者 | 家族 | ボラン ティア | 支援者 | |
| 6.21 | ①今年度の計画話合い ②近況報告会 | 6 | 3 | 1 | 3 | 13 |
| 9.14 | アクアス・森のレストラン見学 | 7 | 3 | 0 | 2 | 12 |
| 12.14 | ①近況報告会 ②ハーバリウム作成 ③落語(魚や旬楽師匠) | 6 | 1 | 1 | 2 | 10 |
| 3.8 | ①料理教室 ②近況報告会 | 5 | 2 | 1 | 2 | 10 |

⑧高次脳機能障がい者支援コーディネーター

加納 靖浩

Ⅲ. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】

(自立訓練(生活訓練)事業・生活介護事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、SST 等を活用して個々の生活能力の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がいの重い人や、高齢の利用者へは傾聴に努め体力維持を主体に支援しました。
- ③作業をすることにより、達成感を持ち社会の一員としての役割が持てるように支援をしました。
- ④レクリエーション活動を通じて、楽しみや心が躍る時間が持てるように支援をしました。
- ⑤一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を立案し、支援しました。

2) 支援時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に11:45～13:00を昼食時間とする。)

3) 各事業部門事業内容及び成果

①自立訓練(生活訓練)事業

- SST教室
- レク活動(ウォーキング、うさぎの会や「スマイル」さんとの交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- 料理教室・買い物訓練を実施
- 箱折り、袋詰め、シール貼り、手芸の作業訓練を実施
- 身体機能の低下を予防する為の健康体操を毎日実施
- 温泉への入浴支援を実施
- 地域の行事や活動に参加し、地域貢献にも努めた
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

②生活介護事業

- 身体機能の低下を予防するための健康体操を実施
- ぬり絵・手芸の実施
- 農作業・袋詰め・シール貼り等の活動を実施
- 医師・看護師等による健康管理を実施
- 温泉への入浴支援を実施
- 料理教室・買物の訓練を実施
- レク活動(ウォーキング、うさぎの会や「スマイル」さんとの交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- SST 教室
- 地域の行事や活動に参加し、地域貢献にも努めた
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

③成果

- 軽作業やレクリエーションを通じて、達成感を持ち主体的に活動し、楽しみや生きがいにつながりました。
- 外出支援で、選挙の期日前投票に出かけ、社会参加することができました。
- 久手小学4年生に「ボッチャ」を教える機会を持ち、主体的な関わりができました。
- 嘱託医の健康相談や看護師の健康管理により、健康面での意識の向上が図

- られ、必要な方には専門医の受診が速やかに行うことができました。
- SST 教室でのロールプレイを通して、コミュニケーション力や日常生活の技能の向上が見られました。
 - 昼食の提供により、バランスの良い食事摂取ができ、体調を整えることができました。
 - 送迎支援により、足腰の弱い方や遠方の方の利用が可能となり、生活リズムや体調を整えることができ、継続して地域生活を送ることができました。
 - 福祉制度について、勉強する機会を持つことで、自分のこととして意識し主体的に更新申請をする意識の向上が見られました。
 - 地域の伝統行事である、大田祭りに触れることができました。
 - 昨年から続けている、大田市駅における豪華寝台特急「瑞風」の歓迎活動により、JR西日本より感謝状を貰うことになり、地域貢献に努めることができました。

④研修

- 「亀の子工房」との合同研修会を実施しました。(詳細は20頁に記載)

⑤利用者年齢別構成表(平成31年3月31日現在)

(単位:人)

| | | ～29 | 30代 | 40代 | 50代 | 60以上 | 計 | 平均年齢 |
|----------------|----|-----|-----|-----|-----|------|----|---------|
| 自立訓練 (生活訓練) | 男性 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 40歳11ヶ月 |
| | 女性 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 29歳6か月 |
| | 計 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 5 | 38歳7か月 |
| 生活介護 | 男性 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 6 | 60歳1か月 |
| | 女性 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 | 9 | 53歳3か月 |
| | 計 | 1 | 1 | 1 | 5 | 7 | 15 | 56歳0か月 |
| 合計 | 男性 | 2 | 0 | 0 | 6 | 2 | 10 | 50歳6か月 |
| | 女性 | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 | 10 | 41歳4か月 |
| | 計 | 4 | 1 | 1 | 7 | 7 | 20 | 47歳4か月 |

⑥利用年数(平成31年3月31日現在)

(単位:人)

| | | 1年未満 | 3年未満 | 5年未満 | 5年以上 | 合計 | 平均年数 |
|----------------|----|------|------|------|------|----|--------|
| 自立訓練 (生活訓練) | 男性 | 1 | 3 | — | — | 4 | 1年4か月 |
| | 女性 | 0 | 1 | — | — | 1 | 1年10か月 |
| | 合計 | 1 | 4 | — | — | 5 | 1年5か月 |
| 生活介護 | 男性 | 1 | 0 | 0 | 5 | 6 | 6年2か月 |
| | 女性 | 2 | 2 | 0 | 5 | 9 | 4年8か月 |
| | 合計 | 3 | 2 | 0 | 10 | 15 | 5年3か月 |
| 合計 | | 4 | 6 | 0 | 10 | 20 | 3年4か月 |

⑦利用者の主な障がい種別

| 障がい種別 | 精神 | 知的 | 身体 | その他 |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 自立訓練(生活訓練) | 1名 | 2名 | 1名 | 1名 |
| | 20.0% | 40.0% | 20.0% | 20.0% |
| 生活介護 | 11名 | 2名 | 2名 | 0名 |
| | 73.3% | 13.3% | 13.3% | 0.0% |

⑧利用者手帳所持者数(平成31年3月31日現在) (単位:人)

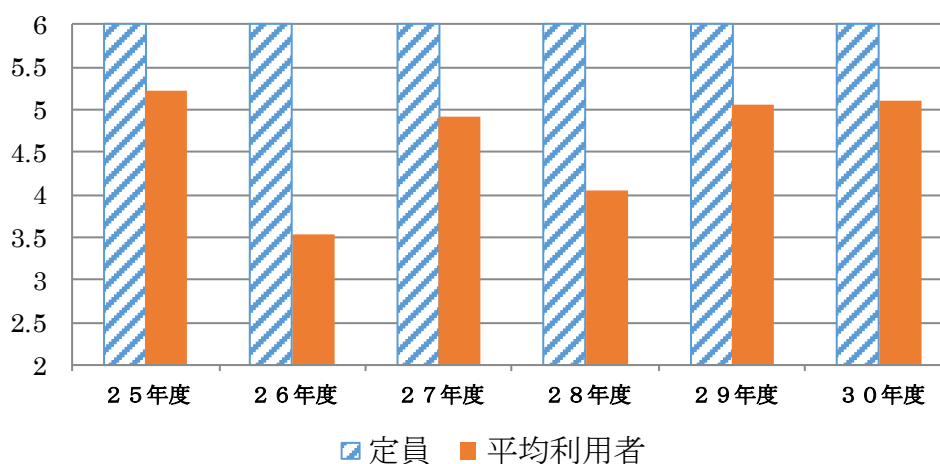
| | | 精神 1級 | 精神 2級 | 精神 3級 | 療育 A | 療育 B | 身体 2級 | なし | 合計 |
|----------------|----|----------|----------|----------|---------|---------|----------|----|----|
| 自立訓練 (生活訓練) | 男性 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| | 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 計 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| 生活介護 | 男性 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 5 |
| | 女性 | 4 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 10 |
| | 計 | 4 | 7 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 15 |
| 合計 | | 4 | 8 | 0 | 0 | 4 | 3 | 1 | 20 |

⑨平均利用日数

○自立訓練(生活訓練)事業【定員 6名】 (単位:人)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 営業日数 | 21 | 22 | 22 | 22 | 21 | 19 | 23 | 22 | 21 | 20 | 20 | 21 | 21.2 |
| 登録者数 | 6 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5.8 |
| 延べ 利用者数 | 120 | 129 | 142 | 142 | 110 | 100 | 107 | 98 | 85 | 87 | 90 | 92 | 108.5 |
| 1日当り 利用者数 | 5.7 | 5.8 | 6.4 | 6.4 | 5.2 | 5.2 | 4.6 | 4.4 | 4.0 | 4.3 | 4.5 | 4.3 | 5.1 |

定員と1日平均利用者数

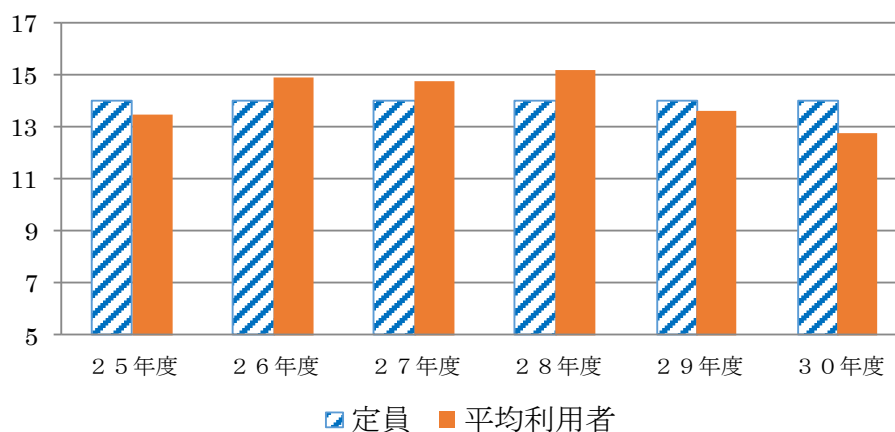


○生活介護事業【定員 14 名】

(単位:人)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 営業日数 | 21 | 22 | 22 | 22 | 21 | 19 | 23 | 22 | 21 | 20 | 20 | 21 | 21.1 |
| 登録者数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 16 | 16 | 16 | 15.3 |
| 延べ利用者数 | 289 | 302 | 298 | 299 | 278 | 242 | 303 | 266 | 251 | 231 | 254 | 249 | 271.8 |
| 1日当り利用者数 | 13.7 | 13.7 | 13.5 | 13.5 | 13.2 | 12.7 | 13.1 | 12.0 | 11.9 | 11.5 | 12.7 | 11.8 | 12.8 |

定員と1日平均利用者数



⑩利用者推移

○利用者推移表

(単位:人)

| | 年度初 | 新規通所 | 退所 | 年度末 |
|----------------|-----|------|----|-----|
| 自立訓練 (生活訓練) | 6 | 2 | 8 | 0 |
| 生活介護 | 16 | 3 | 5 | 14 |
| 合計 | 22 | 5 | 13 | 14 |

○退所者の行先

| | 退所後の様子 |
|----------------|--|
| 自立訓練 (生活訓練) | 生活介護(2名)、就労継続 B 型(3名)、就労移行(1名)、他事業所(2名)、 |
| 生活介護 | 自宅(3名)、入院(1名)、死亡(1名) |

⑪行事

○「亀の子工房」との合同で実施しました。(詳細は22頁に記載)

IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】(就労継続支援 B 型事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、個々の能力に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、能力の開発並びに意識の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がい重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援しました。
- ③一人ひとりに合った個別支援計画を立案し、それに従った支援を行いました。

2) 作業時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に12:00～13:00を昼食時間とする。)

3) 事業実施内容及び成果

①給食工房

- ・学校給食センター・地元農家と連携・調整し、野菜の加工にも取り組んで地産地消に貢献しました。
- ・既存商品の生産量を増やし、高齢者施設への納品や個人宅への訪問販売を行いました。

②豆腐工房

- ・地元スーパーへの納品、企業や個人宅への訪問販売を通して、地元との繋がりを大切に継続している事で売り上げ増につながりました。
- ・学校給食センターと連携して地産地消の推進を行い、豆腐だけでなく豆乳や水煮など大豆製品を幅広く使用してもらう事で売り上げ増につながりました。

③印刷工房

- ・メンバーがデザインしたイラストを使ったオリジナル筆箋などを新しく作成することで、さらに創る意欲を高め、作業の幅を広げました。
- ・横の連携をスムーズにし、作業のしやすい環境作りに努めることでミスが減りました。

4) 研修

- ①「ふぁみりーわーく」との合同研修会を下記のとおり実施しました。

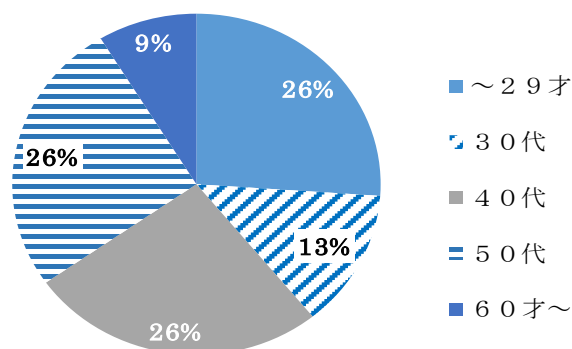
| 日付 | 内容 | 亀の子工房 | ふぁみりーわーく |
|-------|------------------|-------|----------|
| 4.15 | 福祉制度を知ろう・虐待について | 17 | 19 |
| 5.19 | 世界遺産 石見銀山について知ろう | 18 | 16 |
| 6.16 | スマートフォン勉強会 | 16 | 18 |
| 7.20 | マナー教室 | 17 | 21 |
| 11.10 | 福山研修旅行事前勉強会 | 14 | 15 |

②研修旅行

| 実施日 | 場所 | 内 容 | 亀の子工房 | ふぁみりーわーく |
|-------|-------|---------|-------|----------|
| 11.16 | 広島・福山 | 日帰り研修旅行 | 20 | 14 |

5) 利用者年齢別構成表(平成31年3月31日現在) (単位:人)

| | ～29 | 30代 | 40代 | 50代 | 60～ | 計 | 平均年齢 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--------|
| 男性 | 5 | 2 | 1 | 3 | 1 | 12 | 40歳7か月 |
| 女性 | 1 | 1 | 5 | 3 | 1 | 11 | 46歳8か月 |
| 計 | 6 | 3 | 6 | 6 | 2 | 23 | 43歳7か月 |



6) 利用者の主な障がい種別(平成31年3月31日現在)

| 障がい種別 | 精神 | 知的 | 身体 | 高次脳 | 発達 |
|-------|-----|-----|----|-----|----|
| 人数 | 12名 | 8名 | 1名 | 1名 | 1名 |
| 割合 | 53% | 35% | 4% | 4% | 4% |

7) 利用年数(平成31年3月31日現在) (単位:人)

| | 1年未満 | 3年未満 | 5年未満 | 5年以上 | 合計 | 平均年数 |
|----|------|------|------|------|----|-------|
| 男性 | 0 | 3 | 3 | 6 | 12 | 5年8か月 |
| 女性 | 1 | 4 | 3 | 3 | 11 | 4年2か月 |
| 計 | 1 | 7 | 6 | 9 | 23 | 5年2か月 |

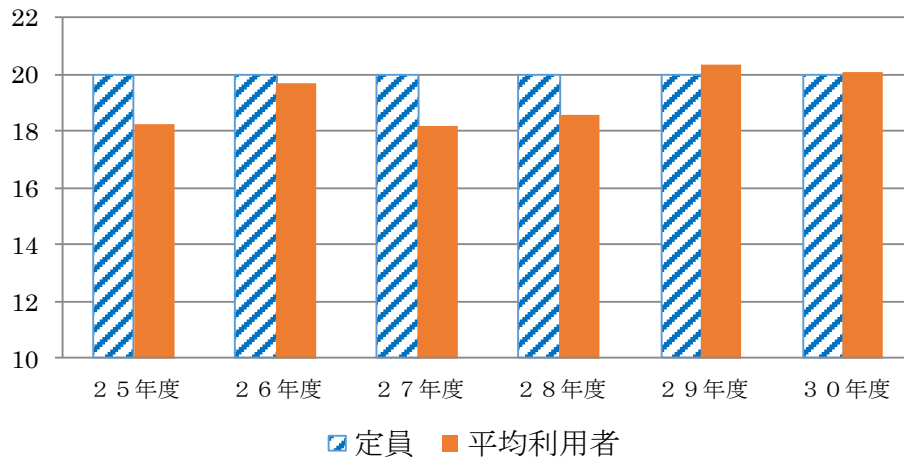
8) 利用者手帳所持者数(平成31年3月31日現在) (単位:人)

| | 精神1級 | 精神2級 | 精神3級 | 療育A | 療育B | 身体 | 手帳なし | 合計 |
|----|------|------|------|-----|-----|----|------|----|
| 男性 | 0 | 5 | 1 | 0 | 5 | 1 | 0 | 12 |
| 女性 | 0 | 7 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 11 |
| 計 | 0 | 12 | 1 | 0 | 8 | 2 | 0 | 23 |

9) 平均利用日数【定員20名】 (単位:人)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 営業日数 | 21 | 22 | 22 | 22 | 21 | 19 | 23 | 22 | 21 | 20 | 20 | 21 | 21.2 |
| 登録者数 | 25 | 25 | 25 | 24 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 24 | 24 | 23 | 24.6 |
| 延べ利用者数 | 427 | 457 | 443 | 428 | 426 | 391 | 483 | 452 | 425 | 386 | 396 | 396 | 425.8 |
| 1日当り利用者数 | 20.3 | 20.8 | 20.1 | 19.5 | 20.3 | 20.6 | 21.0 | 20.5 | 20.2 | 19.3 | 19.8 | 18.9 | 20.1 |

定員と1日平均利用者数



10) 利用者推移

(単位:人)

| 年度初 | 新規通所者数 | 退所者数 | 年度末 |
|-----|--------|------|-----|
| 25 | 1 | 3 | 23 |

注) ()内は年度末退所者数

退所者の行先は、就労(1名)・入院(1名)・就労移行支援事業所(1名)

11) 利用者の平均工賃

時給 249円(前年度251円) 月額平均 13,889円

12) 行事

| 月日 | 実施内容 |
|-------|-------------------------|
| 4.5 | 花見&グランドゴルフ大会(雨天の為、室内レク) |
| 6.14 | ボウリング大会 |
| 8.17 | 納涼祭 |
| 9.7 | 大田市障がい者スポーツ大会 |
| 9.11 | 消防訓練 |
| 11.16 | 日帰り研修旅行(広島、福山) |
| 12.2 | ふれあいフェスティバル |
| 12.15 | 忘年会 |
| 1.5 | もちつき大会 |
| 3.12 | 消防訓練 |

V. 福祉的就労支援【遊亀館】(就労継続支援 A 型事業・就労移行支援事業)

1) 支援方針

- ①障がい者が雇用や職業訓練及び職場実習の機会を通じ、就労することの喜びや厳しさを得るように支援を行い、社会人としての必要な知識及び能力の向上のための訓練その他の便宜を適切かつ効果的に支援しました。
- ②利用者(顧客)へは、常に質の高いサービスを提供するとともに顧客満足の追及を怠らずサービスの向上に努めました。

2) 利用時間

8:50 ～ 17:00

3) 利用者人数と賃金(H31年3月末現在)

- ①18名(就労継続支援A型13名・就労移行支援5名)
- ②時給764円 就労継続支援A型従業員月額平均賃金 69,303円

4) 活動の報告

- ①A 型からの一般就職者2名
- ②就労アセスメントを行いました。
- ③個別支援計画に基づいた就労の提供・支援を行いました。
- ④生活支援・健康管理・就労支援を行いました。
- ⑤就労能力向上の研修会に参加いたしました。
- ⑥年間売上目標達成に向けて、企画・営業・広報活動を行いました。
- ⑦職場実習の受け入れ・従業員の研修会を行いました。
- ⑧地域行事への参加、及び法人内の行事・研修に参加いたしました。
- ⑨第3土曜日の午前中に研修会を実施しました。

部門別

| 事業 | 内容 |
|----------|--|
| 就労継続支援A型 | <p>【配食サービス】 介護保険認定者等への普通食や治療食の配食サービスを実施し、出雲養護学校邇摩分教室への給食を提供しました。また、家族への安否確認のメールサービスを実施しました。</p> <p>【委託業務】 株式会社魚の屋の業務委託として最中スープの製造をしました。大田市の業務委託として長久公園の草刈りを年4回行いました。</p> <p>【施設外就労】 法人の児童及び障がい児施設内において就労支援を行いました。また、農福連携事業としてぶどう園にて農作業を行いました。</p> |
| 就労移行支援 | 月間の予定表を作成し、それに沿って就労に必要な知識・技能・体力を身に着けるための訓練を行いました。 |

5) 利用者表 (H31年3月31日現在) (単位:人)

| 部 門 | 男性 | 女性 | 計 |
|----------|----|----|----|
| 就労継続支援A型 | 9 | 4 | 13 |
| 就労移行支援 | 3 | 2 | 5 |
| 計 | 12 | 6 | 18 |

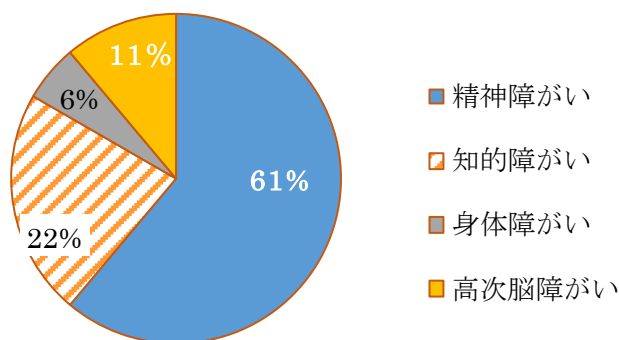
6) 部門別加入保険状況表 (H31年3月31日現在) (単位:人)

| 就労継続支援A型 | 加入保険 | | 計 |
|----------|------|------|----|
| | 雇用保険 | 社会保険 | |
| 配食サービス | 7 | 0 | 7 |
| 施設外就労 | 5 | 1 | 5 |
| 合 計 | 12 | 1 | 12 |

※施設外就労の従業員 1 名が社会保険・雇用保険とも加入のため重複

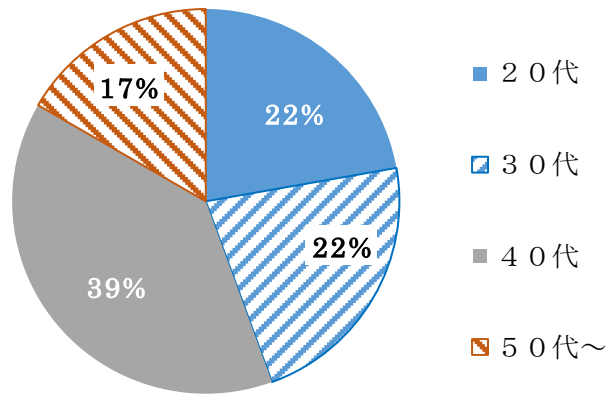
7) 利用者の主な障がい種別 (平成31年3月31日現在)

| 障がい種別 | 精神 | 知的 | 身体 | 高次脳 |
|------------|-----|-----|----|-----|
| 就労継続支援 A 型 | 7名 | 4名 | 0名 | 2名 |
| 就労移行支援 | 4名 | 0名 | 1名 | 0名 |
| 合計人数 | 11名 | 4名 | 1名 | 2名 |
| 割合 | 61% | 22% | 6% | 11% |



8) 利用者年齢別構成表 (平成31年3月31日現在) (単位:人)

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代～ | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 男性 | 0 | 2 | 4 | 3 | 3 | 12 |
| 女性 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 6 |
| 合計 | 0 | 4 | 4 | 7 | 3 | 18 |



9)利用者手帳所持者数（平成31年3月31日現在）

（単位:人）

| | 1級 | 2級 | 3級 | 療育 | 身体 | なし | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男性 | 0 | 5 | 4 | 2 | 1 | 0 | 12 |
| 女性 | 0 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 6 |
| 合計 | 0 | 8 | 5 | 4 | 1 | 0 | 18 |

10)職場実習件数 3件

11)職場実習受け入れ件数 1件

出雲養護学校本校 1件

12)利用者支援

個別支援計画に基づき、自己決定を尊重しながら働くことの厳しさや意識をもってもらえるよう就労支援を致しました。生活支援については、家族や相談支援事業所等との連携を行いました。また就労に際し医療が必要な場合等は同行受診や家庭訪問も行いました。一般就労支援においては、就業・生活支援センター等との連携も実施いたしました。

13)利用者の健康管理

体調の自己管理等ができるように、栄養士による健康講座を実施いたしました。

VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】(障がい者就業・生活支援センター)

1) 目的

就職や職場適応などの就業面の支援及び生活習慣の形成や日常生活の管理などの就業の継続に伴う生活支援が必要な障がい者に対して、雇用、福祉、保健、教育等の関係機関と連携を図りながら、身近な地域において必要な指導、助言その他支援を行うことにより、職業生活における自立を図ることを目的とします。

2) 事業の内容

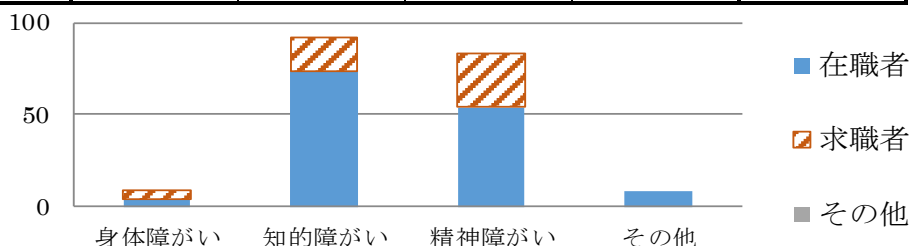
- ①障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行いました。
- ②事業主に対して障がい者の就職後の雇用管理に係る助言等を行いました。
- ③障がい者に対して障害者職業センターにより行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについて斡旋を行いました。
- ④障がい者の雇用の場、職場実習の場を広げる活動を行いました。
- ⑤障がい者の就職後の職場定着支援を実施しました。
- ⑥県、市町村、公共職業安定所、障害者職業センター等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの関係機関との連携を図りました。
- ⑦職場定着のための在職者の交流活動「パキラ」を年4回(7月、9月(台風接近のため中止)、10月(台風接近のため中止)、1月)開催しました。
- ⑧大田市障がい者自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑨邑南町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑩美郷町・川本町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑪島根県より障害者就業・生活支援センター事業(生活支援等事業)を受託し実施しました。
- ⑫島根県より障がい者雇用促進支援員配置業務を受託し、事業所開拓を行いました。
- ⑬島根県より障がい者チャレンジ事業を受託し、職場実習の拡大を行いました。
- ⑭島根県より障がい者就労支援ネットワーク強化・充実事業を受託し実施しました。
- ⑮島根県より障がい者の仕事と生活の両立支援事業を受託し実施しました。
- ⑯島根県立遼摩高校における特別支援教育が必要な生徒に対する就業支援の指導及び助言を行いました。

3) 支援対象障がい者の状況

①登録状況

(単位:人)

| | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい | その他 | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-----|-----|
| 在職者 | 4 | 74 | 54 | 8 | 140 |
| 求職者 | 5 | 18 | 29 | 0 | 52 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 9 | 92 | 83 | 8 | 192 |



4) 障がい者に対する支援の実施状況

① 支援対象障がい者に対する相談・支援件数(手段別) (単位:件)

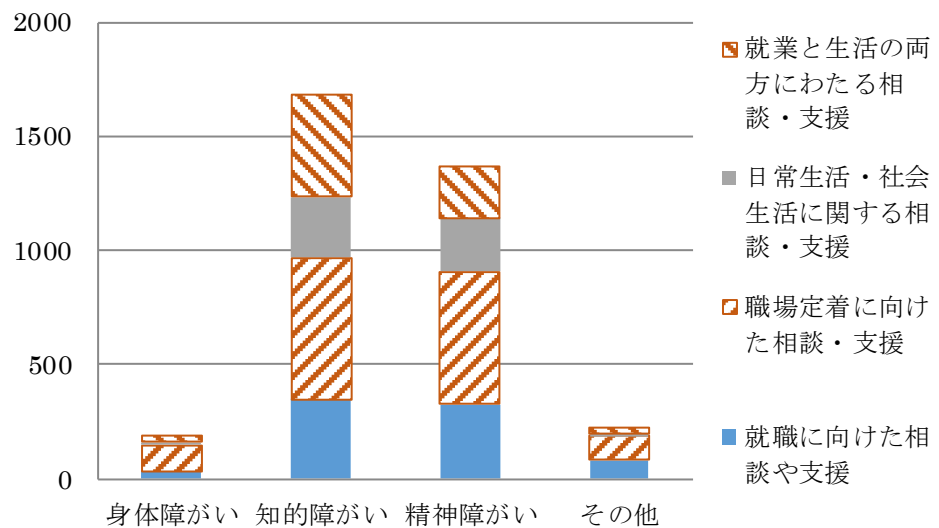
| | |
|------------|-------|
| ジョブ亀の子への来所 | 628 |
| 電話・メール | 1,481 |
| 職場訪問 | 946 |
| 家庭・施設への訪問 | 171 |
| その他 | 479 |
| 合 計 | 3,705 |

② 支援対象障がい者に対する相談・支援件数(内容別) (単位:件)

| | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい | その他 | 合 計 |
|--------------------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 就職に向けた相談や支援 | 59 | 365 | 477 | 6 | 907 |
| 職場定着に向けた相談・支援 | 20 | 646 | 671 | 47 | 1,384 |
| 日常生活・社会生活に関する相談・支援 | 40 | 210 | 137 | 2 | 389 |
| 就業と生活の両方にわたる相談・支援 | 50 | 592 | 377 | 6 | 1,025 |
| 合 計 | 169 | 1,813 | 1,662 | 61 | 3,705 |

③ 支援対象障がい者の就職件数 (単位:件)

| | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい | その他 | 合 計 |
|-------------------------|-------|-------|-------|-----|-----|
| 一般 (30 時間以上) | 0 | 7 | 8 | 0 | 15 |
| 短時間(20 時間以上 30 時間未満) | 0 | 5 | 4 | 0 | 9 |
| 短時間 (20 時間未満) | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合 計 | 0 | 12 | 13 | 0 | 25 |



④支援対象障がい者の実習件数

(単位:件)

| | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい | その他 | 合計 |
|---------|-------|-------|-------|-----|----|
| 3日以上の実習 | 3 | 27 | 31 | 0 | 61 |

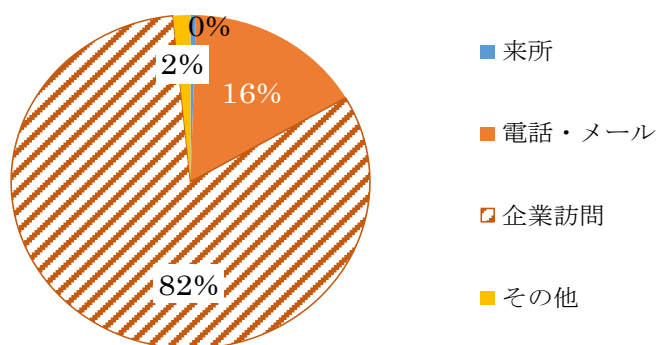
5) 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

①相談・支援を行った事業所数・・・139 事業所

②相談・支援件数(手段別)

(単位:件)

| | |
|------------|-------|
| ジョブ亀の子への来所 | 13 |
| 電話・メール | 161 |
| 企業訪問 | 938 |
| その他 | 54 |
| 合計 | 1,166 |



6) 障がい者就業・生活支援センター事業連絡会議

第1回連絡会議開催・・・平成30年6月29日(金) 於:あすてらす

参加:32機関 40名

第2回連絡会議開催・・・平成31年2月21日(木) 於:あすてらす

参加:42機関 59名

7) 職場定着促進のための在職者の交流活動「パキラ」

第1回開催・・・平成30年7月29日(日)

【台風接近のため、平成30年11月18日(日)に延期】

大田圏域・浜田圏域・益田圏域の在職者交流

「防災講座(地震、津波)」 参加:20名

第2回開催・・・平成30年9月30日(日)【台風接近のため中止】

携帯電話の使い方や交通安全についての勉強会

第3回開催・・・平成30年10月6日(土)【台風接近のため中止】

「コミュニケーション能力を高めよう～職場や地域の方と上手につきあうために～」コミュニケーションの勉強会

第4回開催・・・平成31年1月12日(土)

「コミュニケーション能力を高めよう」コミュニケーションの勉強会

参加:19名

8) ネットワーク強化・充実事業

①「障がい者雇用企業見学会」

日 時 : 平成30年7月20日(金)
場 所 : 社会福祉法人仁摩福祉会しおさい、帝人コードレ株式会社
参 加 者 : 8事業所 計9名

②「障がい者雇用事業所視察研修(安来)」

日 時 : 平成30年11月17日(土)
場 所 : 株式会社日立金属安来製作所 山手事務内・海岸工場
社会福祉法人せんだん会ワークセンターやすぎ
参 加 者 : 23名

③「障がい者一般就労体験発表会」

日 時 : 平成31年1月23日(水)
場 所 : 大田市民センター
参 加 者 : 91名

9) 障がい者の仕事と生活の両立支援事業

第1回

日 時 : 平成30年5月27日(日)
内 容 : 香木の森にて交流会
参 加 者 : 23名

第2回

日 時 : 平成30年7月29日(日)
【台風接近のため平成30年11月18日(日)に変更】
内 容 : ボウリング交流会
参 加 者 : 20名

第3回

日 時 : 平成30年8月5日(日)
内 容 : 天領さんに参加
参 加 者 : 7名

第4回

日 時 : 平成30年9月30日(日) 【台風接近のため中止】
内 容 : ボッチャ交流会

第5回

日 時 : 平成30年11月10日(土)
内 容 : 日帰りバスツアー
参 加 者 : 20名

第6回

日 時 : 平成31年1月12日(土)
内 容 : ランチ新年会
参 加 者 : 19名

Ⅶ. 住まいの支援

【タートルホーム】(介護サービス包括型共同生活援助事業)

1) 基本方針

- ① サービス利用計画書に従い、利用者の自己自立の促進を促します。
- ② 将来は一般アパートに入居できるよう、生活支援をします。

2) 共同住居定員

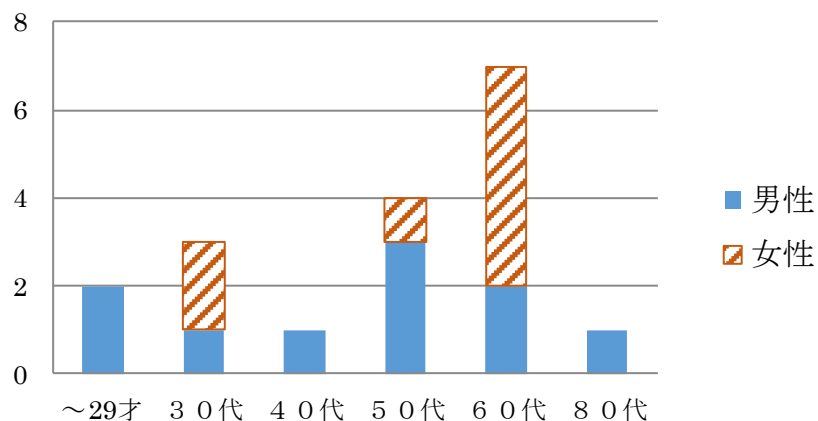
| | |
|---------|-----|
| タートルホーム | 10名 |
| コーポ亀の子Ⅱ | 5名 |
| コーポ亀の子Ⅲ | 4名 |

3) 入居状況推移表

| 定員 | 年度初 | 新規入居者 | 退所者 | 年度末 |
|-----|-----|-------|-----|-----|
| 19名 | 19名 | 3名 | 4名 | 18名 |

4) 入居者構成表(平成31年3月31日現在) (単位:人)

| | ~29 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 80代 | 計 | 平均年齢 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|---------|
| 男性 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 10 | 49歳 7か月 |
| 女性 | 0 | 2 | 0 | 1 | 5 | 0 | 8 | 57歳 6か月 |
| 合計 | 2 | 3 | 1 | 4 | 7 | 1 | 18 | 53歳 1か月 |



5) 入居年数(平成30年3月31日現在) (単位:人)

| | 1年未満 | 3年未満 | 5年未満 | 5年以上 | 合計 | 平均年数 |
|----|------|------|------|------|----|--------|
| 男性 | 2 | 2 | 1 | 5 | 10 | 5年 2か月 |
| 女性 | 1 | 1 | 2 | 4 | 8 | 6年 2か月 |
| 合計 | 3 | 3 | 3 | 9 | 18 | 5年 6か月 |

6) 利用者の主な障がい種別

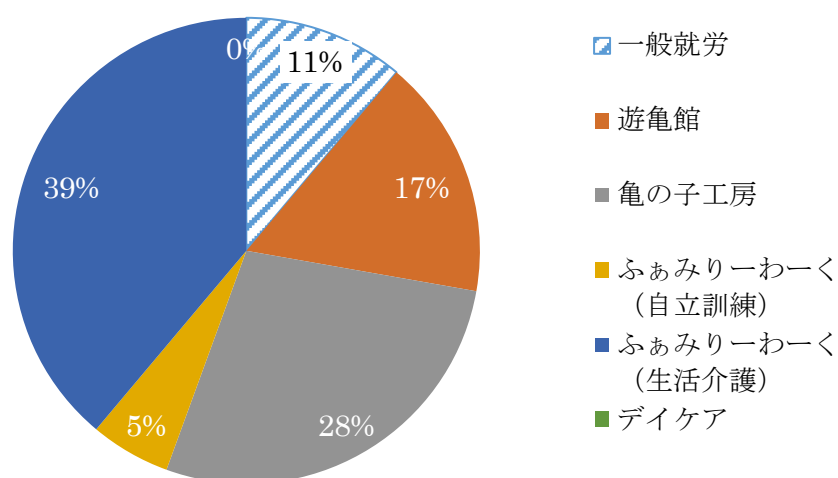
(平成30年3月31日現在)

| 障がい種別 | 精神 | 知的 | 身体 | 高次脳 |
|-------|-------|-------|----|-----|
| 人数 | 13名 | 5名 | 0名 | 0名 |
| 割合 | 72.2% | 27.7% | 0% | 0% |

7) 福祉サービス等利用先

(単位:人)

| 一般就労 | 遊亀館 | 亀の子工房 | ふぁみりーわーく | | デイケア | 合計 |
|------|-----|-------|----------|------|------|----|
| | | | 自立訓練 | 生活介護 | | |
| 2 | 3 | 5 | 1 | 7 | 0 | 18 |



8) その他

- 服薬確認や家族・病院との連携に務めました。
- 毎月全員でミーティングを実施しました。
- 毎月入浴支援や料理教室を実施しました。
- 土日も職員が常勤し、住人の困り事などその都度対応に努めました。
(部屋の片付け、洗濯、掃除などできにくい人は一緒に行いました。)
- お小遣い帳の確認やお金の使い方など相談にのりました。

(3) 児童支援部門

I. 保育支援【たから保育園】(認可保育所)

1) 保育方針

- ①子どもの信頼関係を大切にし、一人ひとりが安心して自分を出して生活できるような保育をします。
- ②縦割りの中で子どもたち同士のつながりや、思いやりの気持ちが持てるようにします。
- ③家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごせるようにします。
- ④地域の中で保育を大切にし、様々な人との交流の場を広げます。

2) 保育目標

- 心身ともに健康で心豊かな子ども
- 協調性・自主性のある明るい子ども
- よく見・よく聞き・よく考え・行動できる子ども

3) 保育内容

- ①保育時間 月～金曜日 7:30～18:30
土曜日(午後は希望保育) 7:30～18:30
- ②延長保育 月～土曜日(有料) 19:30まで
- ③一時保育 月～金曜日(休止)(有料) 8:30～16:30

4) 職員構成

(単位:人)

| 園長 | 副園長 | 主任 | 保育職員 | | 栄養士 | 調理員 | 看護師 | 事務 | 計 |
|----|-----|----|------|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | | | 常勤 | 非常勤 | | | | | |
| 1 | 1 | 1 | 7 | 7 | 1 | 2 | 1 | 1 | 22 |

顧問医:やまうち内科 山内院長 顧問歯科医:中村歯科 中村院長

5) 保育人数

①通常保育(平成31年3月)

(単位:人)

| 0歳児 びしゃもん | 1歳児 ふくろく | 2歳児 べんてん | 3歳児 ほてい | 4歳児 えびす | 5歳児 だいこく | 合計 | 保育 定員 |
|--------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|----|----------|
| 8 | 11 | 9 | 12 | 10 | 13 | 63 | 50 |

②障がい児保育事業

・平成30年度・・・該当者なし

③延長保育事業

・平成30年度・・・378名(延人数)

④一時保育事業

・平成30年度・・・休止

⑤病児保育【体調不良児対応型】・・・12名(延人数)

6) 保育園行事

| 行事 | 実施日 | 場所 | 参加者 |
|-----------------|---|--------------------|------------------------------|
| 入園・進級式 | 4月4日 | たから保育園 | 入園児58名・保護者・来賓 |
| 礼拝 | 8回実施 | 瑞応寺 | 2～5歳児 |
| 誕生会 | 毎月実施 | たから保育園 | 全園児 |
| お茶のおけいこ | 8回実施 | たから保育園 | 5歳児 |
| 英語教室 | 17回実施 | たから保育園 | 全園児 |
| お弁当の日 (散歩遠足) | 9回実施 | 保育園近辺 | 全園児 |
| 花まつり | 5月 7日 | たから保育園 | 全園児・保護者参加 |
| 親子遠足 | 5月25日 | 三瓶自然館サヒメル | 園児49名 家族他 |
| 交通安全教室 | 4月27日 | たから保育園 | 園児52名 警察官2名 |
| 七夕・夏祭り会 | 7月 7日 | たから保育園 | 全園児・保護者他多数 |
| 祖父母参観 | 9月 12日 | たから保育園 | 園児57名・祖父母26名 |
| 運動会 | 9月 29日 | たから保育園 (雨天:遊戯室) | 園児37名 保護者他多数 |
| 保育参加 | 6/18.19. 6/26.28 10/23.25.26 10/29.31 11/1.5.6.7 11/30 | たから保育園 | 園児 保護者53名(延人数) |
| 餅つき会 | 12月 7日 | たから保育園 | 園児60名・食育ボラ2名 |
| クリスマス会 | 12月20日 | たから保育園 | 園児56名 |
| 節分会 | 2月 1日 | たから保育園 | 園児55名 |
| お楽しみ会 | 2月 9日 | たから保育園 | 園児53名 保護者他多数 |
| ひな祭り会 | 3月 4日 | たから保育園 | 園児58名 |
| お別れ遠足 | 3月20日 | 保育園近辺 | 全園児 |
| お別れ会 | 3月15日 | たから保育園 | 園児60名 |
| 卒園式・親子茶会 | 3月23日 | たから保育園 | 卒園児13名・ 在園児20名・ 保護者・来賓 |
| 身体測定 | 毎月実施 | たから保育園 | 全園児 |

| 行事 | 実施日 | 場所 | 参加者 |
|-----------|-------------------|--------|-----|
| 歯科検診 | 6月 7日 | たから保育園 | 全園児 |
| 内科検診 | 9月 3日 | たから保育園 | 全園児 |
| 防災・消火避難訓練 | 毎月実施 | たから保育園 | |
| クッキング | 7回実施 (7~9月を除く) | たから保育園 | 5歳児 |

○礼拝は、月に1回瑞応寺にバスで行けるので子どもたちも楽しみにしていました。

○各行事も保護者参加がたくさんあり、協力してもらえたことによりスムーズに進行できました。

○お茶のおけいこは回数的にも丁度良かったです。3月のお茶のおけいこは前半に1回行うことで親子茶会の打ち合わせもできて、2回実施できよかったです。卒園児の人数も増え、広い会場で行いました。

○活動内容、日程を考えて計画していきたいと思います。

○七夕夏祭りを、保育園主体で行うことで、保護者の方に楽しんでいただけたと思います。

7) 地域活動事業

① 世代間交流

| 開催日 | 内容 |
|-------|--------|
| 9月12日 | 祖父母参観日 |

② 異年齢児交流

| 開催日 | 内容 |
|--------|---------|
| 4月19日 | 新入園児歓迎会 |
| 5月25日 | 親子遠足 |
| 7月 7日 | 七夕・夏祭り会 |
| 9月29日 | 運動会 |
| 12月20日 | クリスマス会 |
| 3月 4日 | ひな祭り |
| 3月15日 | お別れ会 |
| 3月20日 | お別れ遠足 |

③ 地域交流

| 開催日 | 内容 |
|--------|------|
| 5月 7日 | 花まつり |
| 12月 7日 | 餅つき会 |

II. 障がい児通所支援

【かめっ子クラブ】(放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業)

1) 目的

未就学期や学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

①未就学の障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

②学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

①放課後等デイサービス事業 : 月曜日～土曜日

②児童発達支援事業 : 月曜日～金曜日

但し、両事業とも祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

①児童発達支援事業 9:00 ～ 13:30

②放課後等デイサービス事業

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援を実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 大田市全域(10月より)

6) 利用定員 10名

(児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の合算)

7) 行事

| 開催月 | 内容 |
|-----|--|
| 4月 | お花見 |
| 5月 | 消防署見学・端午の節句・水害避難訓練 |
| 6月 | 虫歯予防デイ・親子遠足 |
| 7月 | 七夕会・陶芸教室・プール遊び・海水浴 |
| 8月 | プール遊び・マジックショー・児童クラブ「わんぱくクラブ」との交流・レッツ イングリッシュ・染め物 |
| 9月 | 火災総合訓練 |
| 12月 | クリスマス会・凧作り・大掃除 |
| 1月 | 初詣・書き初め・凧揚げ・雪遊び |

| 開催月 | 内容 |
|-----|----------------------------|
| 2月 | 節分 |
| 3月 | ひな祭り・火災総合訓練・お別れ会 |
| 毎月 | ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会・誕生会 |

8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。
- ③島根県自閉症協会大田地区部会、めだか教室及び、ぴよんぴよん教室に職員が参加しました。

9) 利用児童数

①放課後等デイサービス事業 (単位:人)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 営業日数 | 24 | 24 | 26 | 25 | 23 | 23 | 26 | 24 | 24 | 23 | 23 | 25 | 24.2 |
| 利用児童数 | 13 | 12 | 12 | 13 | 13 | 12 | 12 | 13 | 14 | 14 | 14 | 14 | 13.0 |
| 延べ利用児童数 | 174 | 157 | 182 | 189 | 196 | 168 | 191 | 179 | 175 | 177 | 184 | 197 | 180.8 |
| 1日当り利用児童数 | 7.3 | 6.5 | 7.0 | 7.6 | 8.5 | 7.3 | 7.3 | 7.5 | 7.3 | 7.7 | 8.0 | 7.9 | 7.5 |

②児童発達支援事業

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 営業日数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 利用児童数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 延べ利用児童数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1日当り利用児童数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

【かめっ子クラブⅡ】(放課後等デイサービス事業)

1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 大田市全域(10月より)

6) 利用定員 10名

7) 行事

| 開催月 | 内容 |
|-----|--|
| 4月 | お花見 |
| 5月 | スポーツ大会・水害避難訓練・消防署見学・誕生会 |
| 6月 | むし歯予防デー・広島遠足・ |
| 7月 | 七夕会・陶芸教室・プール遊び・海水浴 |
| 8月 | マジックショー・レッツ イングリッシュ・梨狩り・染物・プール遊び・クッキング・夏祭り |
| 9月 | 火災総合訓練・クッキング・誕生会 |
| 10月 | 亀の子祭参加・運動会 |
| 11月 | スポーツ大会 |
| 12月 | クリスマス会・大掃除・クッキング・凧作り・誕生会・ |
| 1月 | 初詣・書初め・凧上げ・雪遊び・誕生会・クッキング・スポーツ大会 |
| 2月 | 節分・スポーツ大会 |
| 3月 | ひな祭り・火災総合訓練・お楽しみ会・誕生会・クッキング |
| 毎月 | ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会 |

8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 平均利用数

(単位:人)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|-----------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 営業日数 | 23 | 23 | 26 | 25 | 23 | 23 | 26 | 24 | 24 | 23 | 23 | 25 | 24.0 |
| 利用児童数 | 15 | 15 | 15 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 15 | 15 | 16 | 16 | 15.6 |
| 延べ利用児童数 | 208 | 206 | 223 | 257 | 250 | 195 | 230 | 235 | 230 | 204 | 226 | 245 | 225.8 |
| 1日当り利用児童数 | 9.0 | 9.0 | 8.6 | 10.3 | 10.9 | 8.5 | 8.8 | 9.8 | 9.6 | 8.9 | 9.8 | 9.8 | 9.4 |

【かめっ子クラブⅢ】(放課後等デイサービス事業)

1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 大田市全域(10月より)

6) 利用定員 10名

7) 行事

| 開催月 | 内容 |
|-----|--|
| 4月 | お花見 |
| 5月 | 消防署見学・端午の節句・水害避難訓練 |
| 6月 | むし歯予防デー・親子遠足 |
| 7月 | 七夕会・陶芸教室・プール遊び・海水浴 |
| 8月 | 陶芸教室・染物・プール遊び・マジックショー・学童クラブ「わんぱくクラブ」との交流、レッツ イングリッシュ |
| 9月 | 火災総合訓練 |
| 12月 | クリスマス会・大掃除・凧作り |
| 1月 | 初詣・書初め・凧上げ・雪遊び |
| 2月 | 節分 |
| 3月 | ひな祭り・火災総合訓練・お別れ会 |
| 毎月 | ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会・誕生会 |

8) 支援活動内容

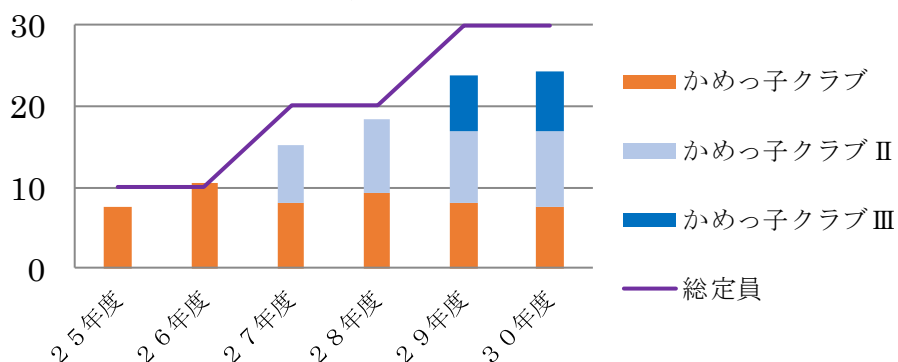
- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 平均利用数

(単位:人)

| 実施月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 営業日数 | 24 | 24 | 26 | 25 | 23 | 23 | 26 | 24 | 24 | 23 | 23 | 25 | 24.2 |
| 利用児童数 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 8.9 |
| 延べ利用児童数 | 151 | 184 | 194 | 204 | 167 | 179 | 194 | 176 | 172 | 158 | 174 | 185 | 178.2 |
| 1日当り利用児童数 | 6.3 | 7.7 | 7.5 | 8.2 | 7.3 | 7.8 | 7.5 | 7.3 | 7.2 | 6.9 | 7.6 | 7.4 | 7.4 |

総定員と1日平均利用者数



(4)メンバーの家族との連携

適切な支援と健全な育成を図るためには、障がい者が住み慣れた地域での生活や社会的自立を促進するために、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持しなければなりません。

このため、各種行事の参加要請、研修会の開催等を行い理解と協力を求めております。また、機関紙等を利用して連携に努めました。

大田地域家族会「親和会」の事務局補助をのほほん職員が担当し、家族の支援を行い、共に障がい者福祉の理解を求めました。

(5)苦情解決

平成30年度は、利用者から下記の苦情申し立てがございましたが、解決に向けて話し合いを行い、改善等を行った結果、申立者より納得・理解をしてもらうことができました。

| 施設名 | 内 容 | 件数 |
|----------|-------------------------------------|----|
| かめっ子クラブⅢ | 他の利用者から受けた行為への職員のサポートが直ぐになかったことについて | 1 |
| 合 計 | | 1 |

(6)職員

施設の主体者はメンバーです。常にメンバーの人権を尊重し豊かな感性を持ち、相手の立場に立った、よき理解者として心がけました。組織の一員として、また専門職としての自覚の下に、信頼を得よう努めました。かつ、職務分掌に基づき速やかに職務を遂行するよう務めました。

一方、施設の効率的運営に留意、協力すると共に常に問題意識をもち、研究心を忘れないようにしました。そして、職員の資質向上の為に勉強会を行う他、研修会へも積極的に参加いたしました。更に、地域社会にあっては、施設の役割を認識し積極的に交流しました。

1) 職員の役割

* 基本理念

- ① 基本的人権の尊重
- ② 職務及び利用者に関する守秘義務を果たす。

2) 保健衛生

職員は健康管理には十分留意した生活を行いました。

また年1回検診(下記(1)・(2))を行いました。

- (1) 内科検診・X線間接・体重・血圧測定・検尿・視力検査・聴力検査
- (2) 35歳以上の職員については、(1)の検査に加えて次の検査も行いました。
①血液検査 ②心電図 ③胃検査
- (3) 月1回検便(腸内細菌検査)を実施しました。
亀の子工房(豆腐工房・給食工房の利用者及び職員)
遊亀館(配食サービス・天然酵母 pole pole の従業員及び職員)
たから保育園職員

3) 勤務

全職員が「就業規則」及び「労働基準法」を遵守して勤務しました。

(7) 非常災害対策

「亀の子消防計画」、「自衛消防組織」及び「緊急連絡網」の周知、徹底を全職員に図ります。また、災害の防止及び備えについて知識の普及と平常の訓練の充実を図りました。

1) 予防と知識の普及

各室に火気取り締まり責任者をおき、点検を行うとともに、月1回の自主点検及び年1回の職員と利用者に消火器取り扱い訓練を行いました。

2) 避難訓練

①内容：総合訓練や避難訓練を行い、迅速な避難誘導の習慣化を図りました。

②開催日：(火災総合訓練) 9月11日(大田市消防本部職員立会)
3月12日
(防災・消火避難訓練) 毎月(たから保育園)
(夜間避難訓練) 3月19日(タートルホーム)
(水害避難訓練) 5月15日

3) 事故防止

メンバーの安全を第一に考え、施設内において事故が起きそうな場所は、速やかに改善を行いました。

6. 社会貢献活動

社会貢献活動として、地域の活動に参加または、実施を行いました。

| 内 容 | 実施事業所 | 実施日 又は回数 | 人数 |
|-----------------|----------|-------------|-------|
| 大田市災害ボランティア | 法人全体 | 11回 | 延べ 14 |
| 大田市海岸(久手海岸)清掃活動 | 法人全体 | H29.7.16 | 27 |
| 天領さん | 法人全体 | H29.8.6 | 44 |
| 邇摩高校「進路デー」 | 法人全体 | H31.3.15 | 2 |
| 久手小学校のふれあい交流会 | ふぁみりーわーく | H30.6.7 | 21 |
| 駅前整備(ごみ拾い・草抜き) | ふぁみりーわーく | 3回 | 延べ 65 |
| 町内ごみ拾い活動 | のほほん | 5回 | 延べ 28 |
| ぴよんぴよん教室 | かめっ子クラブ | 7回 | 延べ 13 |
| めだか教室 | かめっ子クラブ | 5回 | 延べ 10 |

